

令和5年8月3日

報道関係者各位

公益社団法人マナーキッズプロジェクト

理事長 田中日出男



内閣府地方創生 SDGs プラットフォーム 地方創生事業マッチング

地方創生応援税制を活用した0歳からの立腰・体幹遊び[®]と日本の心を伝える諸活動との連携日本再生国民運動の件

公益社団法人マナーキッズプロジェクトは、平成17年の発足以来、子供たちの体幹を鍛え、礼儀の重要性を指導することによりいじめ、不登校、暴力行為、骨折、発達障害、アレルギーなどの克服を目指して全国（一部の外国も含む）での活動を進めてまいりました。

しかし残念ながら我が国の少子化に歯止めはかからず、子供たちを取り巻く課題に改善の兆しは一向に見えてきません。そこで当プロジェクトは地方創生応援税制を活用して各自治体や民間企業が主体となって3年後、5年後、10年後をめどに具体的な改善の目標値を設定し、課題克服を推進するため日本再生国民運動を展開します。

具体的には「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会兼講座を開催した後、全保育園、幼稚園、こども園で毎日の立腰タイム、授業の始めと終わりの挨拶を通して、学校生活において身体活動量を増やすことを通して、朝の会等での運動を通して体幹を鍛え、さらに言葉、お辞儀・挨拶等について親子でチェックし、改善に取り組めます。保護者に対し、5歳位までに決まる腸内細菌という食と健康を受講して頂きます。

今般、加えて、子供の自己肯定感を高めるため、「日本再生てらこや・全国ネットワーク」、NPO法人「再チャレンジ東京」いじめ・自殺防止国民運動本部他日本の心を伝える諸活動との連携による日本再生国民運動として展開することにより、国、地方自治体、企業、保育士、教諭、指導者、親世代保護者、祖父母世代は、強い志をもって粘り強く実践し、体・徳・知のバランスのとれた人材育成により、体力低下、いじめ、暴力、不登校等の現代的（社会的）課題を克服すると共に、世界の人々から尊敬される日本人の輩出を目指します。（別紙参照）

皆様方のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

以上

補足説明

1 公益社団法人マナーキッズプロジェクトの活動について

公益社団法人マナーキッズプロジェクトは、幼稚園・保育園、小学校児童に対し、スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、＜体・徳・知＞バランスのよい子供を育てる活動を行っております。既に47都道府県及び台湾、マレーシアにおいて、延べ150万人を超える幼稚園・保育園園児、小学校児童が参加しております。また、マナーキッズ教室を媒介とした体育・道徳融合授業は、38都道府県418小学校、幼稚園・保育園において実施しております。

「0歳からの立腰・体幹遊び」の実践後の効果は、東京都教職員研修セの実践後の効果は、早稲田大学スポーツ科学学術院の子供の体幹を鍛える研究～正しい姿勢のもたらす教育的効果の検証～において、猫背傾向が改善、姿勢が良い小学生は自己抑制が高い傾向、品川区立浜川小学校

及び戸越小学校から、「規律正しい児童は学力も大きく向上する」―「マナーキッズ」を市民科授業に取り入れて―という報告があります。マナーキッズプロジェクトの大森肇筑波大学名誉教授が日本体力医学会大会において、「3歳児に週3回、3ヶ月の模倣運動を行った結果、運動した群は、しない群より言語検査得点の伸びが大きかった。」との研究報告により証明されております。

2 NPO法人「再チャレンジ東京」いじめ・自殺防止国民運動本部の活動について

私達は、いじめ・自殺防止国民運動を展開する中で、教育の本質を常に模索し続けています。

日本のこれまでの教育は、個性を封印し、平均的な人を作る傾向がありました。

この「平均像」から外れるこどもは、悩み、苦しむ。

本来、発達障害とは、個性の輝きであるはずではないでしょうか。

そんな中で、子供たちと共に、自分探しの努力をしてきました。

「個性が輝く教育」と「なりたい自分の模索」の重要性をあらためて感じさせてくれます。

生命を守る道徳の授業や、様々な場面を通じて、これまでに会った子供たち。

純真でポジティブな生き方をしています。

生命輝く子供たちが沢山います。

また、一方では、

子供たちの「いじめ・自殺」問題は、深刻な状況にあります。

昨年文科省は、2022年度のいじめ認知件数が全国で54万件に上ると発表しています。しかし、これは文字通り認知した件数で、私たちの調べたところでは「いじめ」に遭遇している子供たちは4人に1人の25%に及んでいます。

さらに、わたくしたちの行っているいじめ・自殺防止作文コンクールでは160件の応募がありました。この中で「いじめ」を自殺に結び付けて書いてある作文が65例（全体の40.6%）もありました。このままでは日本の全国民が防止・撲滅に取り組まなければ、大変な事態を引き起こすでしょう。東京都の調査では、10代から30代の死亡率のトップは自殺です。

いじめ・自殺防止のコンクールで、最優秀作品のポスターと標語は東京都の全小中学・高校2165校に毎年配布、“気づき”に役立てています。今後はこの運動を全国に広げてゆきたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

これまで、いじめによる事故が起きたら、教育委員会などに第三者委員会を作り、「やはり、いじめでした」と発表して終わっていました。すべて対処療法です。私たちの運動は、いじめの原因を探り、とりわけ、虐待などはミネラル不足にあることを突き止め、食の見直しを中心にお訴えをして、大きな効果を上げています。

その為に (1) 命を守る「特別道徳授業」、

(2) 地域に拡大する「拡大版道徳授業」、

(3) いじめ・自殺撲滅のための作文・標語・ゆるきゃら・ポスターのコンテストを今後も開催してまいります。

学校で、地域で、職場など、みんなで「いじめ・自殺撲滅」に立ち上がりましょう。

お問い合わせ先

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長 田中日出男

166-0002 東京都杉並区高円寺北3-22-3 デルコホームズ3階

電話：03-3339-6535 080-5470-6951 FAX：03-6426-1580

Email: office365@mannerkids.or.jp

URL: <http://www.mannerkids.or.jp/>

令和5年8月3日

ふるさと納税を活用した「日本再生てらこや」の全国普及による こどもまんなか社会の実現

公益財団法人国策研究会
理事長 土居 征夫

この度、日本再生子ども機構代表天明茂、マナーキッズプロジェクト理事長田中日出男、国策研究会理事長土居征夫の三者の合意により、ふるさと納税を活用した「日本再生てらこや」の全国普及によるこどもまんなか社会の実現を目指した国民運動を展開することになりました。

※ 日本再生てらこやとは

- (1) こども中心の主体的な学びの仕組みをもつ
 - (2) こども・親・社会の三者が可能な限り参加者となる
 - (3) 祖先から未来の子孫につながる縦の絆に気づく学びの場である
- という 3 要素を踏まえたてらこや活動

「日本再生てらこや・全国ネットワーク」は、こども家庭庁などの後援を頂き、2023年5月13日に37団体の参加による大会を開催し、参加団体の発意によりネットワークプラットフォームの開設を検討しておりましたが、本日からその運用を開始することとなりました。

こどもまんなか社会の実現のためには、若い親世代が子供を産み育てる前向きな気持ちになり、こどもが目をはなれて育つようになる環境が、広く全国に整備されていく必要があります。明治以前まで日本人の人格基礎教育を担った寺子屋システムなどの再興を図り、こどもと家族と社会が混然一体となってこどもの成長を見守る新たな仕組みを構築する必要があります。

このため新たに「日本再生てらこや・全国ネットワーク」のHPを創設し、各地で始まった日本再生をめざすてらこやが、情報を共有しながら、全国に仲間を広げていくための国民運動を展開することになりました。企業からは、企業版ふるさと納税によって、各地の事業の支援を期待し、地方自治体からは、行政として自ら日本再生てらこやを事業化したり、民間の同事業を支援することを期待します。

日本再生てらこや・全国ネットワークのホームページ

<https://nihonsaisei-terakoya.org/>

地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームでのソリューション提案

<https://match.future-city.go.jp/pages/platform/c301/2300184>

地方創生応援税制を活用した0歳からの立腰・体幹遊び[®]と日本再生でらこや・全国ネットワーク、NPO法人「再チャレンジ東京」いじめ・自殺防止国民運動本部他日本の心を伝える諸活動との連携
日本再生国民運動

ご参画のお願い

令和4年10月12日、ソリューション登録承認
<https://match.future-city.go.jp/pages/platform/c301/2200317>
 令和5年6月15日、上記タイトルに変更登録承認
 地方創生SDGs官民連携マッチングシステム | 内閣府 (future-city.go.jp)

令和5年8月

公益社団法人マナーキッズ[®]プロジェクト 1

1. 設立の背景(課題)と取り組み

日本の子供・若者の憂慮すべき現代的(社会的)課題をこのまま放置していいのだろうか？

(1992年学研『今「子供」が危ない』の警告)

- ◆運動不足が深刻 ➡ 「体幹」が鍛えられておらずケガする子が増
- ◆姿勢が悪い ➡ 健康、脳に影響
- ◆食生活の変化 ➡ アレルギー、不妊症、奇形児等
- ◆残念な社会現象 ➡ いじめ、暴力、不登校、学級崩壊等

その上、日本の若者は、諸外国の若者に比べて、自己肯定感を肯定的に捉えている比率が低い傾向にあると指摘されております

早稲田大学庭球部小学校テニス教室の開催、小笠原流礼法との出会い
47都道府県、台湾、マレーシアにおいて延べ150万人の園児・児童が参加

地方創生応援税制を活用した0歳からの立腰・体幹遊び[®]と日本の心を伝える諸活動連携による日本再生国民運動に辿り着く

構成

1. 設立の背景(課題)と取り組み 3P
2. 「0歳からの立腰・体幹遊び」とは 4P
3. 実践プログラム 5P
4. 実践後の効果 6P
5. 地方創生SDGs事業マッチング構想 7~8P
6. 〇〇市「三つ子の魂百まで」プロジェクト展開策(案) 9~10P
7. 「0歳からの立腰・体幹遊び」オンデマンド配信講師養成講習会兼講座のご案内 11~13P
8. 企業版ふるさと納税の使途(案) 14P
9. 目指すもの 15P

2. 「0歳からの立腰・体幹遊び」[®]とは？

The infographic is divided into four main sections:

- 立腰 (Standing Posture):** Illustrates a child sitting correctly on a chair. Text: 教育哲学者 森信三氏 (教育哲学者 森信三氏) / 「ハベリ」.
- キッズ調ベズ (Kids Adjustment):** Illustrates a child sitting on the floor. Text: 千葉敬愛短期大学長 明石愛一氏 (千葉敬愛短期大学長 明石愛一氏) / 提言.
- 美しい姿勢挨拶 (Beautiful Posture Greeting):** Illustrates a child standing with good posture. Text: 小笠原流礼法 鈴木万寿子氏 (小笠原流礼法 鈴木万寿子氏).
- 食と健康 (Food and Health):** Illustrates a child eating. Text: 食と健康財団 道見重信氏 (食と健康財団 道見重信氏).

3. 実践プログラム



立腰・体幹を鍛えることにより、「正しい姿勢」が身につく

5

5. 地方創生SDGs事業マッチング構想

地方自治体の実施主体、民間企業は企業版ふるさと納税制度を活用し、マナーキッズと事業マッチングで「健康と福祉(SDGs3)」と「みんなに教育(SDGs4)」に貢献



7

4. 実践後の効果

① 子供の体幹を鍛える研究 (東京都教職員研修センター 早稲田大学スポーツ科学学術院)

- ◆ 立位姿勢は、頭と首の位置が後ろに動き、猫背傾向が改善
- ◆ 座位で「良い姿勢」の児童が増加。体幹が鍛えられ、座った姿勢に気を付け意識が働く
- ◆ 姿勢の良い小学生は自己抑制が高い傾向、中・高校生は学習が楽しい感じている傾向

② 「マナーキッズ」を市民科授業に取入れて(品川区立浜川小学校)

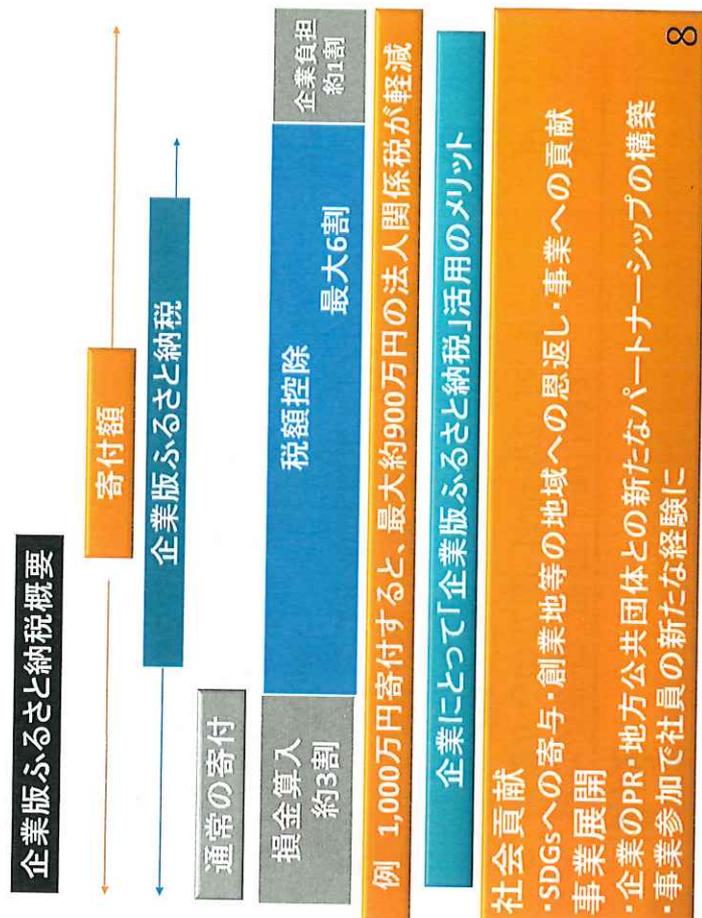
- ◆ 朝、昼15分間、全校朝会、児童集会、授業の最初と最後ほか様々な場面でマナーキッズの礼法を実施
- ◆ CRT(学力定着度調査)は、H22年はH21年より全学年で大きく向上。中学年以上のアンケート調査でも、学習・生活規律が身につけている児童は、身につけていない児童より、一年間で大きく学力が向上した。

戸越小学校「規範意識の向上と定着」により、学力が大きく向上

③ 日本体力医学会大会の発表 (上武大学教授、筑波大学名誉教授 大森肇他)

- ◆ 3歳児に週3回、3か月の模倣運動を行った結果、運動した群は、しない群より言語検査得点の伸びが大きかった
- ◆ 小学校5年生32人にマナーキッズ教室を実施。前後で「気分プロフィール検査」の結果、混乱・緊張・不安、抑うつ・落ち込み、怒り・敵意等が低下した

6



8

6. 〇〇市「三つ子の魂百まで」プロジェクト展開策(案)

①「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会兼講座の募集と開催

保育士、教諭、保護者等を対象に対面とオンデマンドで開催する。、
原則、月1回、1日～10日オンデマンドで配信 10P参照

② 〇〇市の目標設定

いじめ、不登校、暴力行為、骨折、発達障害、アレルギ一、
体力の向上、学力の向上、医療費の削減目標値(3年後、5年後、
10年後)を設定。 11P参照

③ 実践の際、実績効果をデータにしてフォロー

「立腰・体幹遊び実績表」及び「子育て保護者の講座受講比率表」、
「実施実績表」 12～13P参照

④「三つ子の魂百まで」奨励金(年10万円程度)

上記(3)のフォロー結果、高い達成率の個人、団体に支給。

⑤ 日本再生でらこや・全国ネットワーク、NPO法人「再チャレンジ東京」

いじめ・自殺防止国民運動本部、縄文道、日本の伝統文化他
日本の心を伝える諸活動との連携による国民運動

9

〇〇市目標値の設定

項目	現在数値	3年後目標値	5年後目標値	10年後目標値
いじめ				
不登校				
暴力行為				
骨折				
発達障害				
アレルギ一				
体力の向上				
学力の向上				
医療費の削減				

立腰・体幹遊び採用園、小学校の目標値の設定

11

7. 「0歳からの立腰・体幹遊び」オンデマンド配信 講師養成講習会兼講座のご案内

(毎月1日～10日配信、対面式講師養成講習会兼講座もあります)

①講習会兼講座の趣旨・狙い	マナーキッズプロジェクト理事長 田中日出男
②0歳からの立腰教育	福岡市清水保育園園長 江岸尚子
③0歳からの体幹遊び	根本わくわく体操教室代表 根本正雄 甲斐市あおぞら保育園園長 村井つかさ
④子供の体幹を鍛える大切さ	マナーキッズプロジェクト最高顧問 川淵三郎
⑤運動遊びが子供の脳と体を鍛える	安田式体育遊び研究所長 居間達彦
⑥日本の伝統的な美しい姿勢・挨拶	小笠原流礼法的伝総師範 鈴木万亀子
⑦家庭内の躰	小笠原流礼法的伝総師範 鈴木万亀子
⑧「マナーキッズ」調べ	千葉敬愛短期大学学長 明石要一
⑨食と健康	食と健康財団前理事長 道見重信
⑩子供の体幹を鍛える研究	早稲田大学スポーツ科学学術院教授 間野義之
⑪幼児期の言語機能に及ぼす模倣運動の影響	上武大学教授、筑波大学名誉教授 大森肇
⑫規律正しい児童は学力も大きく向上する	品川区立浜川小学校 10

立腰・体幹遊び 実績表

項目	毎日の立腰タイム	できた	概ねできた	できなかった
立腰	授業の際、食事の際に立腰			
	挨拶は自分からする			
	返事は「ハイッ」とはつきりする			
	履物は揃える、椅子は入れる			
体幹遊び	授業の始めと終わりの挨拶を通して体幹を鍛える			
	体育の時間等において身体活動量を増やして体幹を鍛える			
	朝の会等での運動を通して体幹を鍛える			
「マナーキッズ」調べ	「言葉」「お辞儀・挨拶」「歩き方・姿勢」「生活」「社会規範」を親子でチェック			
食と健康(任意)	健康の鍵は、5歳位までに決まる腸内細菌。日本の食文化の原点に立ち戻ろう。食事の改善に挑戦			

12

子育て保護者の「0歳からの立腰・体幹遊び」実施実績

講座受講比率	できた	概ねできた	できなかった
	90%～100%	70%～89%	69%以下

項目	実績
立腰	食事の際に立腰を実践している 接拶は自分からする 返事は「ハイ」とはっきりする 履物は揃える、椅子は入れる 親子で一つの項目でも毎日実践している
体幹遊び	「マナーキッズ」調べ 70点以上が合格です。70点以下でも1点でも向上すれば合格です
食と健康	腸内細菌の重要性を理解しています。
	食事の改善に挑戦しています

8. 企業版ふるさと納税寄付金の使途(案)

開催費用面は、弊法人が、企業版ふるさと納税を活用して支援する企業を発掘し、集まった資金の範囲内で以下に充当して頂きます。

- ①「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会兼講座開催費と参加費の補助
- ②講師養成講習会認定証の所持者で「0歳からの立腰・体幹遊び」で高い実績をあげた保育士、教諭、指導者他に、「三つ子の魂」奨励金の支給
- ③「外遊び空間の整備」他の助成
 - ・保育園、幼稚園園庭の芝生化⇒裸足で遊び、体幹を鍛える
 - ・公園等にてのひらテニス、ショートテニス等運動設備常設⇒3世代の交流の場に
- ④ 日本再生でらこや・全国ネットワーク、NPO法人「再チャレンジ東京いじめ・自殺防止国民運動本部、みんなでオーイ」協会、縄文道、日本の伝統文化他日本の心を伝える諸活動との連携による国民運動活動・運営費用他

後援

スポーツ庁
日本商工会議所
公益財団法人日本スポーツ協会
(文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦)
公益財団法人日本オリンピック委員会
(文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦) 他

特別協賛

協賛

賛助

9. 目指すもの

- ◆ 国、地方自治体、企業、保育士、教諭、指導者、保護者は強い志をもって粘り強く実践し、
- ◆ 体・徳・知のバランスのとれた人材育成により、
- ◆ いじめ、暴力、不登校等の現代的(社会的)課題を克服すると共に、
- ◆ 世界の人々から尊敬される日本人に！

「愛くるしい日本国民の微笑、類なき礼節、上品で果てしないお辞儀と明るく優美な表情には、はるかに心よさを覚えます」
(明治時代、米のシモドア女性記者の日本記より)



【お問い合わせ先】

166-0002東京都杉並区高円寺北3-22-3デルコホームズ3階
03-3339-6535 office365@mannerkids.or.jp
<http://www.mannerkids.or.jp/>